

# I 全ての人にやさしい “生涯安心なまち”

- 1 健康を育むまちづくり
- 2 健やかな子育て・子育ち環境づくり
- 3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり
- 4 誰もが安心して生活できる環境づくり

# 施策 1 健康を育むまちづくり

序論

基本構想

後期基本計画

資料編

めざす姿Ⅰ

## 基本方針

- 市民の健康への関心を高めて自発的な健康づくりと疾病予防を促し、それを支える保健・医療体制を充実させることで市民の“健康寿命”を伸ばします。

### 関連する個別計画

- 川口市健康・生きがいづくり計画（第二次）
- 川口市食育推進計画（第二次）

#### キーワード

#### 主な背景事象

①

- 各種健康診査や検診の受診率の向上
- 妊娠・出産・子育てへの切れ目のない支援
- 地区担当保健師の活動の充実
- 感染症による健康危機への不安

- 一次予防として、食生活や運動などによる生活習慣の改善により病気の発症を抑制し、次に二次予防として各種健康診査や検診などで、早期発見・早期治療を行う予防医療の重要性がますます高まっています。
- 妊娠や出産、子育てに係る不安軽減への取り組みとして支援体制のさらなる充実が求められています。また、増加傾向にある外国人住民への対応が課題となっています。
- 地区ごとに環境や社会資源、マンパワーなどの格差があり、それぞれの健康課題に合わせた保健活動が求められています。
- 感染症の発生により、健康危機に対する不安が増大しており、感染症の未然防止や発生時の拡大防止への迅速な対応が求められています。
- 地域の特性に合わせた市民の健康づくりや、保健、医療、介護、福祉の連携強化が求められています。

②

- 医療体制の充実
- 高度急性期病院の必要性

- 急性期医療を担う病院をはじめとして、多くの医療機関が存在し、医療へのアクセスの良さは強みといえますが、市民の健康意識の多様化に伴う医療ニーズが高まる中、さまざまな医療体制の充実が求められています。
- 団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度に向け、病院・病床機能の役割分担を通じて、より効果的かつ効率的な医療体制を構築するため、「高度急性期」「急性期」「回復期」など、病床機能の再編が進められています。

③

- 高齢者の増加
- 医療技術の高度化による医療費の増加

- 高齢化が進む中、今後ますます65歳以上の高齢者の増加が見込まれることから、医療保険制度の充実が求められています。
- 高齢化の進展や医療の高度化により、国民健康保険・後期高齢者医療保険の医療費は伸び続けていくことが予想されます。今後は、医療費の抑制と保険税（料）収納率の向上による安定的な医療保険制度の運営が必要になります。

### 保健事業の受診者数の推移

(単位：人)

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
がん検診	肺がん	14,465	17,845	17,935	23,547
	胃がん	2,653	2,952	2,646	6,552
	子宮頸がん	17,493	21,440	21,026	23,753
	大腸がん	38,314	37,994	36,264	38,046
	乳がん	14,595	18,798	16,646	17,605
健康診査	3・4か月児	5,088	4,945	4,699	4,605
	1歳6か月児	4,792	5,095	4,862	4,742
	1歳6か月児歯科	3,817	3,875	3,731	3,615
	3歳児	4,448	4,642	4,471	4,682

**目標指標****指 標****現 状 (年 度)****目標値(R7)**

この施策の推進が図られていると感じる人の割合 [%]	47.1 (R2)	現状値を上回る
川口市民の 65 歳健康寿命（男性）[年]	16.90 (H30)	17.74
川口市民の 65 歳健康寿命（女性）[年]	20.00 (H30)	20.89

**単位施策と主な取り組み****保健・予防活動の推進**

- 市民一人ひとりの健康意識を高めるため、健康教室などを通して啓発活動を行います。また、各種健康診査、検診、相談といった保健サービスを充実させ、疾病の早期発見・早期治療を図るとともに、定期予防接種の勧奨を推進し、感染症の予防に努めます。
- 妊娠中の健康状態を良好に保ち、母子ともに健康に出産できるような支援を行うとともに、不妊治療についても積極的な支援を行い、安心して出産・育児ができる環境を整えます。
- 地域保健センターにおいては、地区担当制を推進し、地域のさまざまな健康課題に取り組みます。
- 保健所においては、地域の実情を踏まえた適切な保健衛生サービスを提供します。また、感染症の発生など健康危機の際に迅速かつ適切に対応します。
- 市民の健康づくりを支援するため、体を動かす機会などの拡充に努めます。

**医療体制の充実**

- 地域医療体制や救急医療体制の充実を図るため、地域の医療機関の連携を推進し、また、こども夜間救急診療所等において安定した医療サービスを提供するなど、安心して医療を受けることができる体制を強化します。
- 医療センターにおいては、公的病院としてさらなる診療機能の充実を図り、地域から信頼される高度な医療を担う急性期病院をめざします。

**医療保険制度の充実**

- 各種健康診査や特定保健指導の実施、人間ドック検診の促進などにより、疾病の早期発見や生活習慣の改善指導に努め、健康の保持増進を図るとともに、将来の医療費の削減につなげます。
- 疾病の早期発見や予防を促進することで、医療費を抑制するとともに、保険税（料）の収納率向上を図ることで財源を確保し、安定した医療保険制度の運営をめざします。



川口健康フェスティバル



川口市歯の健康フェスティバル

# 施策 2 健やかな子育て・子育ち環境

序論

基本構想

後期基本計画

資料編

めざす姿Ⅰ

## 基本方針

- 健やかな子どもの成長を支え、子育て・子育ちといえば川口市と言われるような、安心で楽しい子育て・子育ち環境を整えます。

### 関連する個別計画

- 第2期川口市子ども・子育て支援事業計画

#### キーワード

#### 主な背景事象

①

- 地域の人間関係の希薄化
- 子育て支援体制の充実

- 社会構造の変化による地域の人間関係の希薄化に伴い、子育てをする親の負担や不安、孤立感が高まっています。
- 障害児への支援の充実や児童虐待の防止など、子育てをめぐるさまざまな課題への対応とともに、地域全体で子育てを応援する機運の醸成が求められています。

②

- 保育ニーズの多様化
- 待機児童の解消

- 少子化が進行している状況においても、子育て世帯の女性就業率の上昇などにより、さまざまな保育ニーズが生じています。
- 本市では、保育所等の待機児童が解消されない状況の中、今後の保育需要を見据えた効果的な保育の受け入れ枠の確保が求められています。

③

- 子どもの遊び場の減少
- 子どもの居場所

- 都市化や少子化によって遊びの場所や機会が減少し、また、核家族化や地域の人間関係の希薄化により、子どもの社会への関わり方が変化するなど、昨今の社会情勢の変化は、子どもにとっても少なからず影響を及ぼしています。
- 学校生活以外の子どもの居場所づくりや、経済的に課題のある世帯の子どもへの支援など、地域で子どもたちに寄り添う取り組みが必要とされています。

### 子育てサポートプラザ・おやこの遊びひろば利用数

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
子育てサポートプラザ利用数 (延べ人数) (人)	41,534	44,497	45,660	47,707	41,612
子育てサポートプラザ (延べ人数) (人)	28,192	32,836	31,986	31,309	26,895
子育てひろばポッポ♡ (延べ人数) (人)	13,342	11,661	13,674	16,398	14,717
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
おやこの遊びひろば利用数 延べ人数 (人)	100,121	103,833	92,109	88,679	73,749
実施箇所数 (箇所)	38	37	37	37	38

### 保育所数と定員の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
保育所数 (箇所)	86	88	99	104	114	122
定員数 (人)	7,268	7,497	8,342	8,790	9,418	10,003
入所児童数 (人)	6,815	7,194	7,778	8,334	8,873	9,443

### 保育所等の待機児童数の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
待機児童数 (人)	221	98	49	82	76	38

# づくり

## めざす姿 I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”

対応する主な  
SDGsのゴール



### 目標指標

#### 指 標

#### 現 状 (年 度)

#### 目標値(R7)

この施策の推進が図られていると感じる人の割合 [%]

38.3 (R2)

現状値を上回る

保育所等の待機児童数[人]

38 (R2)

0

### 単位施策と主な取り組み

#### 子育て支援の充実

- 子どもや親子、親同士の交流の場、親子での遊びの機会を提供し、各種相談・情報提供の場を充実させていくことで、子育てへの不安や負担の軽減を図り、安心して楽しく子育てができる環境を整えます。
- 子ども一人ひとりを取り巻く環境や心身の状態を十分に踏まえ、学習と体験の機会の拡充、心身の発達への支援、障害のある子どもにとっても住みやすいまちづくりに向けて、行政や関係機関をはじめ、地域全体で支援する体制を強化します。

#### 保育環境の充実

- 病児・病後児保育、一時預かり保育、延長保育など、多様化する保育ニーズに対応し、安心して子育てができるよう保育事業の充実を図ります。
- 地域の実情に応じた保育ニーズを把握し、保育所、認定こども園など多様な施設整備を進めるとともに、安全・安心な保育を実現するため、人材の確保と資質の向上を図ります。

#### 児童の健全な育成

- 家庭・地域・学校・行政が連携して、子どもの居場所をつくり、さまざまな活動と成長を見守る環境を整えます。
- 子どもが自ら育つ力を身に付け、心身ともに健やかに成長することに資するため、放課後児童クラブや児童センターなど児童健全育成事業の充実を図り、子どもの集いや学び合いの場所を提供していきます。
- 子どもの権利の視点から、子どもの貧困をとらえ、全ての子どもたちに生まれ育った家庭の経済状況等にかかわらず、未来への希望を持ち、自立する力を伸ばすことのできる機会と環境を提供していきます。



子育てサポートプラザ



保育所

# 施策 3 高齢者の暮らしの安心・生きがい

序論  
基本構想

後期基本計画

資料編

めざす姿 I

## 基本方針

- 急速な高齢化が進展する中、住みなれた地域で高齢者が元気に生きがいを持ち、いかなる心身の状態にあっても、地域で安心して暮らせる環境づくりを推進します。

### 関連する個別計画

- 第8期川口市高齢者福祉計画・介護保険事業計画

#### キーワード

#### 主な背景事象

①

- 高齢化の進展に伴う認知症高齢者の増加
- 地域コミュニティ機能の低下

- 高齢化率が急速に高まっている中、今後は一人暮らしの高齢者や、高齢者のみの世帯、認知症高齢者のさらなる増加が見込まれます。
- 高齢者の価値観・ライフスタイルの多様化に伴い、高齢者福祉へのニーズも多様化しています。
- 地域コミュニティが希薄な近年では、地域の見守りや近所付き合いなどが減少し、通院や買い物、健康管理といった日常生活に不便や不安を感じている高齢者が増えています。

②

- 一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯の増加
- 地域包括ケアシステムの深化・推進
- 地域での支え合いの仕組みづくり

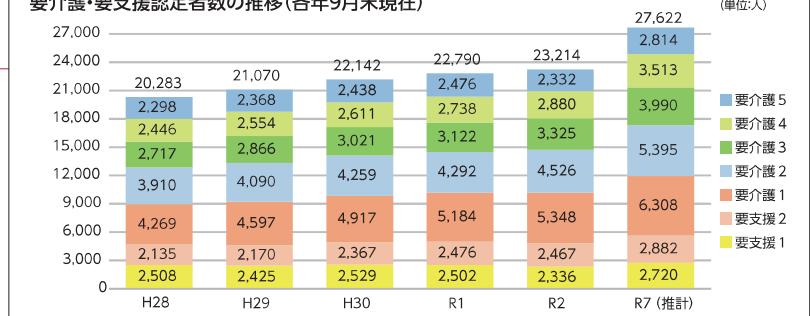
- 高齢化のさらなる進展により介護サービスの需要がより一層高まるとともに、一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯も増加することで、より質の高いサービスが介護事業に求められています。
- 高齢者になっても住みなれた地域で暮らし続けていくためには、医療・介護・予防・生活支援・住まいが一体的に提供される地域包括ケアシステムの深化・推進が求められています。
- 地域包括ケアシステムは、単なる介護サービスでは補えない、町会・自治会などの地域での支え合いの仕組みづくりが必要になります。

③

- 元気な高齢者の増加
- 高齢者の社会参加と居場所づくり

- 元気な高齢者の増加により、高齢者の価値観やライフスタイルも多様化し、健康や生きがいづくりへのニーズは、さらに高まることが予想されます。
- 高齢者の経験や技能を活かすためにも、人材を必要とする企業とのマッチングや地域社会へ貢献できる環境づくりが必要になります。

要介護・要支援認定者数の推移(各年9月末現在)



## 目標指標

## 指 標

## 現 状 (年 度)

## 目標値(R7)

この施策の推進が図られていると感じる人の割合 [%]	27.7 (R2)	現状値を上回る
要介護認定を受けている高齢者の割合 [%]	16.2 (R2)	R7年の推計値を下回る
生活機能が低下した高齢者の介護予防教室の参加者数 [人]	639 (R1)	704

## 単位施策と主な取り組み

## 高齢者福祉の充実

- 高齢者を対象に生活支援や対策を推進していくことで、高齢者の不安を解消し、住みなれた自宅で安心して暮らすことができる環境づくりを進めます。

## 介護事業の充実

- 介護サービスの利用者負担額の軽減を図ることで、低所得者でも安心して介護サービスが利用できるようにします。また、介護保険事業者を育成し、介護サービスの質の向上を図ります。
- 介護予防などの取り組みを推進し、高齢者が要支援・要介護状態となることを防ぐとともに、在宅医療と介護の連携を図りながら、地域の特性を活かし、要介護状態になっても安心して生活できる環境づくりを進めます。
- 高齢者が安心して暮らせるための医療・介護・予防・生活支援などのつなぎ役である地域包括支援センターの効果的な運営を図ります。
- 地域の多様な関係者間での情報共有や、連携・協働による取り組みを推進し、地域の人々がお互いに助け合い、支え合いながら地域の課題に取り組めるよう支援を行います。

## 社会参加の場と機会の充実

- 高齢者のニーズが高い趣味や教養を扱うセミナーの開催、生きがいづくり、悩み事などの相談体制を整えることで、健康で生きがいのある生活をサポートします。
- 高齢者が心豊かな生活を送れるよう、生涯スポーツ・レクリエーション活動の活性化やボランティアなどの地域社会への貢献活動の推進を図るため、老人クラブなどの地域の活動や社会参加へのきっかけづくりを支援します。
- 高齢者の経験や技能を地域社会に提供するための就労環境づくりを支援していきます。



介護予防ギフトボックス事業



老人クラブ

# 施策 4 誰もが安心して生活できる環境

序論

基本構想

後期基本計画

資料編

めざす姿Ⅰ

## 基本方針

- 子どもから高齢者まで、年齢・性別、障害の有無などにかかわらず、誰もがその人らしく、安心して充実した生活ができる環境を整えます。

### 関連する個別計画

- 第2期川口市地域福祉計画（後期）
- 川口市障害者福祉計画

	キーワード	主な背景事象
①	<ul style="list-style-type: none"><li>地域の相互扶助機能の低下</li><li>ノーマライゼーションの推進</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>少子高齢化や核家族化のみならず、人々の価値観の多様化がもたらす地域の相互扶助機能の低下により、今まで地域が担ってきた身近な生活課題の解決が困難になっています。</li><li>心や施設のバリアフリーを推進するためにも、ノーマライゼーションの考え方を浸透していく必要性が高まっています。</li></ul>
②	<ul style="list-style-type: none"><li>障害者差別解消法の制定</li><li>障害者数の増加</li><li>障害者介護の不安</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>障害者差別解消法が制定され、障害のある人への差別をなくし、合理的配慮を行い、障害の有無にかかわらず、ともに生きる社会の実現をめざしています。</li><li>本市における障害者手帳所持者数は年々増加傾向にあり、特に精神障害者の増加率が高い傾向を示しています。</li><li>本市が実施したアンケートによると、障害者の多くは将来にわたる生活の場や収入などに不安を抱き、相談体制や情報提供の充実、サービス利用手続きの簡素化が求められています。</li><li>多くの障害者は家族などのサポートを必要としている一方、介護する側では、日頃の介護や将来の不安など、身体的・精神的に大きな負担を抱えながらサポートを続けています。</li></ul>
③	<ul style="list-style-type: none"><li>生活の困窮予防と貧困の連鎖防止</li><li>生活困窮者の増加</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>生活が困窮するとその状況から抜け出しが困難であり、さらには貧困の連鎖を生み出してしまう可能性があります。そのため、生活困窮者には生活保護になる前の自立支援策が求められています。</li><li>生活保護の被保護世帯、被保護人員ともに増加傾向にあります。</li></ul>
④	<ul style="list-style-type: none"><li>環境衛生活動の充実</li><li>火葬場の開設</li><li>市営霊園の老朽化</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>良好な生活環境を保つため、清潔で明るい住み良いまちを実現するための活動や、環境づくりが求められています。</li><li>これまで市内には火葬場がなく、市制施行以来の懸案事項でしたが、平成30年4月に川口市めぐりの森を開設しました。</li><li>川口市安行霊園は、開園後50年以上が経過しており、施設全体の老朽化が課題となっています。</li></ul>



## 目標指標

## 指 標

## 現 状 (年 度)

## 目標値(R7)

この施策の推進が図られていると感じる人の割合 [%]	31.0 (R2)	現状値を上回る
障害者相談支援センターの相談件数 [件]	41,847 (R1)	62,355

## 単位施策と主な取り組み

## 誰もが安心して生活できる仕組みや環境づくり

- さまざまな啓発活動やイベントの展開、心や施設のバリアフリー化など、子どもから高齢者まで、年齢・性別、障害の有無などにかかわらず、誰もがその人らしく、安心して充実した生活ができる仕組みや環境づくりを推進していきます。

## 障害者を支える仕組みづくりの推進

- あいサポート運動を展開し、障害のある人もない人も地域の中でともに生活しやすい社会を実現できるように啓発活動を推進します。
- 保健・医療・福祉・労働・教育などの関係機関の相互連携や、災害時の支援などにより、生涯にわたって安心して生活ができる環境を整えます。
- 障害者や支援者に対する相談やサービス、利用計画などの作成を通じて、地域社会の中で自立した生活を営むことができる環境づくりを進めます。
- 障害者や支援する家族などの不安や負担を軽減するため、その障害の特性に応じた支援をしていきます。



川口市障害者週間記念事業～ハートフェスタ～

## 低所得者の生活安定への支援

- 生活困窮者が自立した暮らしができるように、住居の確保や、就労準備、子どもの学習支援、各種相談機会の提供、一時的な資金の貸付など、さまざまな取り組みを推進します。
- 生活保護については、被保護世帯への適切な相談・指導・支援などにより世帯の自立を図ります。また、生活保護制度の適正な運営のため、不正受給の防止や後発医薬品の使用促進などに取り組みます。

## 環境衛生の充実

- 良好な生活環境を保つため、地域における環境衛生活動などを支援し、清潔で明るい住み良いまちづくりを推進します。
- 市民が安心して利用できるよう、火葬場の適切な管理運営に努めます。
- 市民ニーズを踏まえた市営霊園の整備を進めます。

